

沖縄県MICE開催実態調査は、「沖縄MICE振興戦略」に基づく具体的施策の効果を検証し、今後の改善に資する基礎資料とすることを目的に、沖縄県におけるMICE開催の実態を把握するため毎年実施しています。令和6年は、郵送又は電子メールにより調査対象施設へ調査票を送付し、回収した調査票を基に、重複と考えられる催事を統合したうえでMICE開催件数を集計しました。

～ MICE基礎知識 ～

MICEとは、**M**eeting(会議)、**I**ncentive Travel(報奨旅行)、**C**onvention(学会・大会)、**E**xhibition(展示会)/**E**vent(イベント)の頭文字を組み合わせた造語であり、多くの集客と交流が見込まれるビジネスイベントの総称です。

MICEは、企業や産業活動、研究・学会活動などに関連する場合が多く、一般的な観光に比べて消費額が大きいことが特徴です。また、MICE開催を通じて国際・国内から人や情報が集まることにより、ビジネスネットワークの構築が可能となります。そのため、MICE開催地では新たなビジネスの創出や、研究環境・技術力の向上などが期待されます。

M Meeting(企業・団体会議)

企業・団体会議とは、主に企業が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」「研修」「式典」「セミナー」等の催事、いわゆるコーポレートミーティングを指します。

あえて日常とは異なる環境に集まることで、新しいアイデアが生まれ、充実した議論が展開されることが期待されます。



I Incentive Travel(報奨・研修旅行)

報奨・研修旅行とは、主に企業が従業員や代理店等を対象に、「過去の実績に対する報奨の提供」や、さらなるビジネス成長に向けた「研修」等を目的として実施する旅行を指します。

通常の観光要素に加え、表彰式やレクリエーションを取り入れることで、参加者の結束力を高めることができます。



C Convention(学会・大会)

学会・大会とは、公共機関等が主催する公益性の高いテーマを議論する国内・国際会議や大会、または学術団体等が主催する学術的・技術的な議論や研究発表を目的とした学術会議、研究会・報告会等を指します。

会議のみならず、観光や地域交流などのプログラムが組み込まれる場合も少なくありません。



E Exhibition(展示会)/Event(イベント)

展示会・見本市・商談会とは、国や地域を越えた「モノ」「サービス」「情報」の売買や商談を目的として開催される、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事であり、地域の産業発展に資する効果が期待されます。

また、イベントとは、商品やサービスの販売促進、プロモーション手段として開催される催事を指します。



■ 調査概要

【調査対象期間】

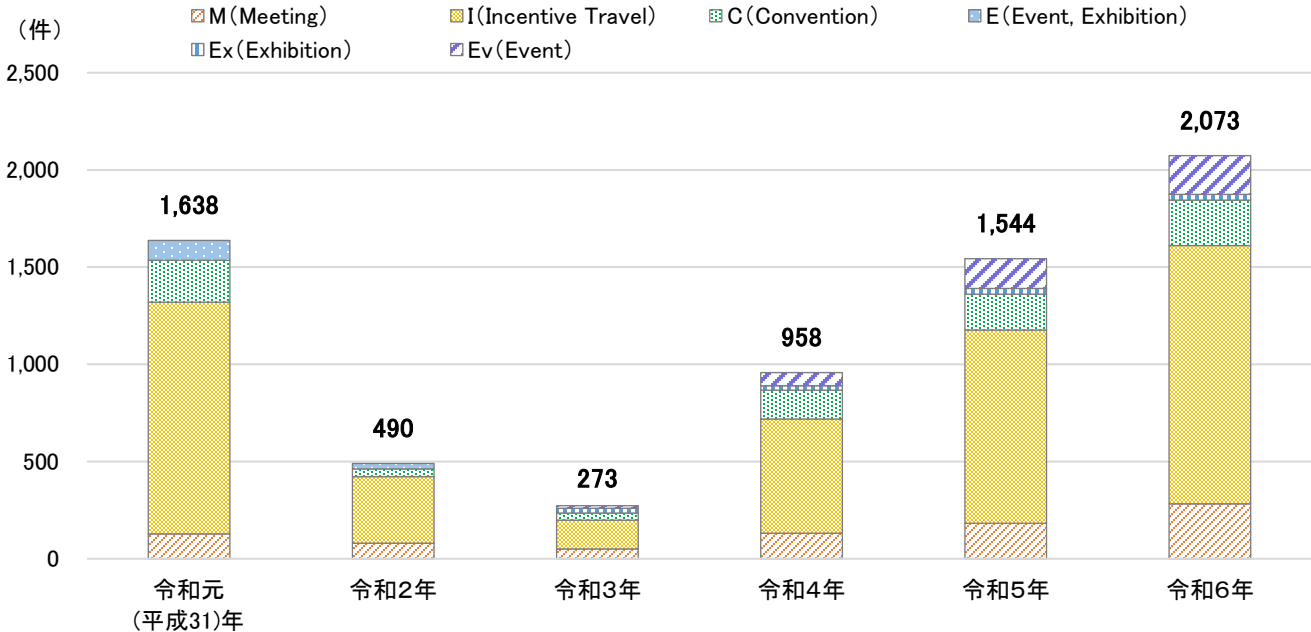
令和6年1月1日から令和6年12月31日までに沖縄県内で開催されたMICE催事

【調査対象施設等(412社)】

- ・ 会議施設
- ・ 宿泊施設（主にバンケット機能を有する宿泊施設）
- ・ 県内大学
- ・ 団体受入を実施している観光施設等
- ・ 沖縄県又はOCVBが指定する施設・団体（MICE受入実績を有する旅行会社・PCO等）

■ 沖縄県で開催されたMICE開催件数の推移[令和元年～令和6年]

		令和元 (平成31)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年			
		件数	件数	件数	件数	件数	件数		増減数	前年比
M(Meeting)		128	81	51	131	183	282	(14%)	99	154%
I(Incentive Travel)		1,191	341	148	588	993	1,329	(64%)	336	134%
C(Convention)		216	40	36	148	185	233	(11%)	48	126%
E(Exhibition, Event)		103	28	38	91	183	229	(11%)	46	125%
	Ex(Exhibition)	－	－	14	23	29	31	(1%)	2	107%
	Ev(Event)	－	－	24	68	154	198	(10%)	44	129%
合計		1,638	490	273	958	1,544	2,073	100%	529	134%



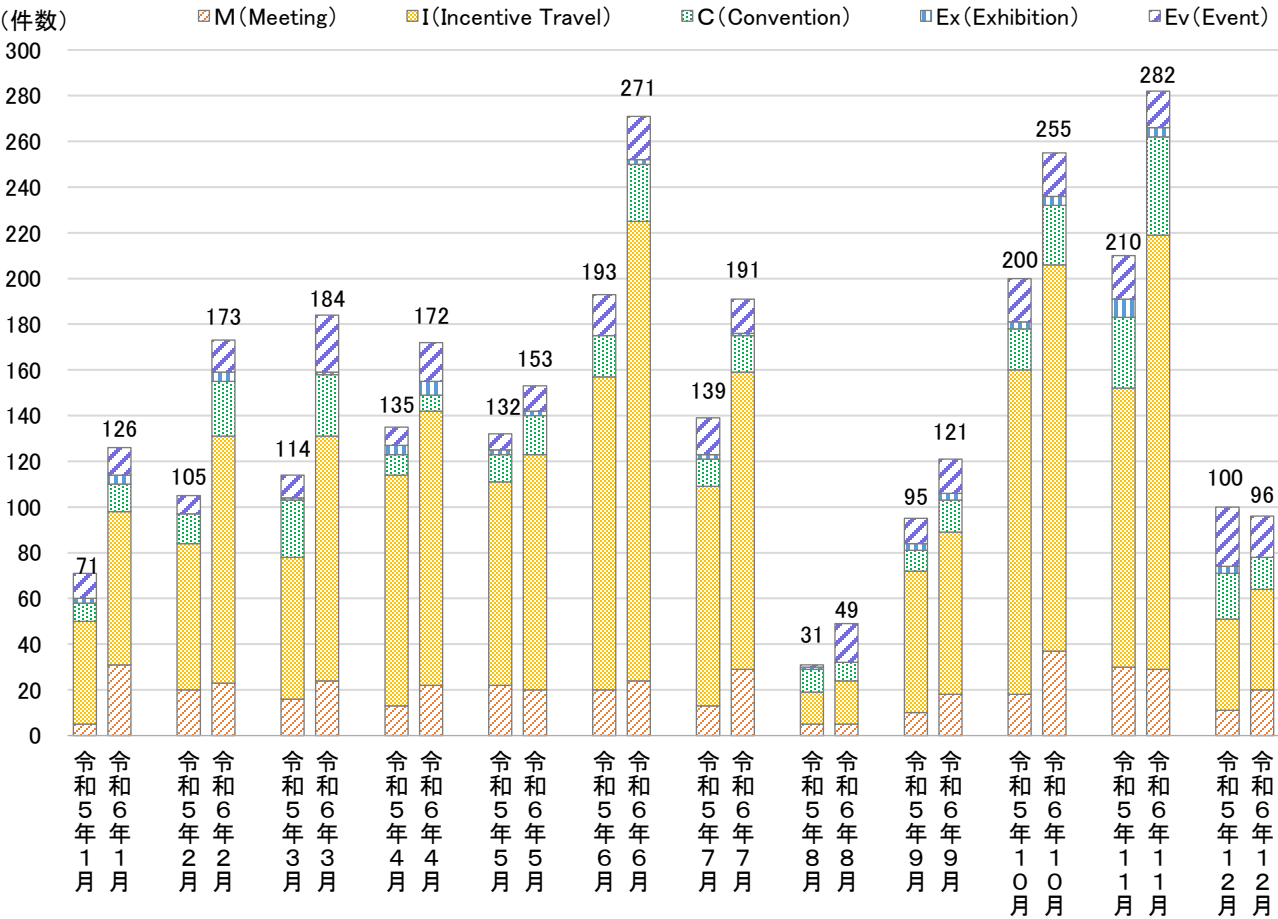
令和6年の開催件数は計2,073件となり、調査開始以降の最多件数となりました。前年（令和5年）からは529件の増加となり、前年比134%と大きく伸長しました。催事区分別では「Meeting」が最も増加し、前年比154%（+99件）となっています。

催事別構成（M/I/C/E別）では、過去の傾向と同様に「Incentive Travel」の割合が最も高く、1,329件（構成比64%）を占めています。次いで「Meeting」が282件（14%）、「Convention」が233件（11%）、「Exhibition, Event」が229件（11%）となっています。年間の開催件数はどの催事においても前年に比べ増加しています。

新型コロナウイルス感染症の収束に伴う需要の回復に加え、会議・パーティー・宿泊をワンストップで実現できるホテルの増加や人材育成の取組など受入環境の整備が進んだことが増加の背景にあります。

■ 月別開催件数[令和6年]

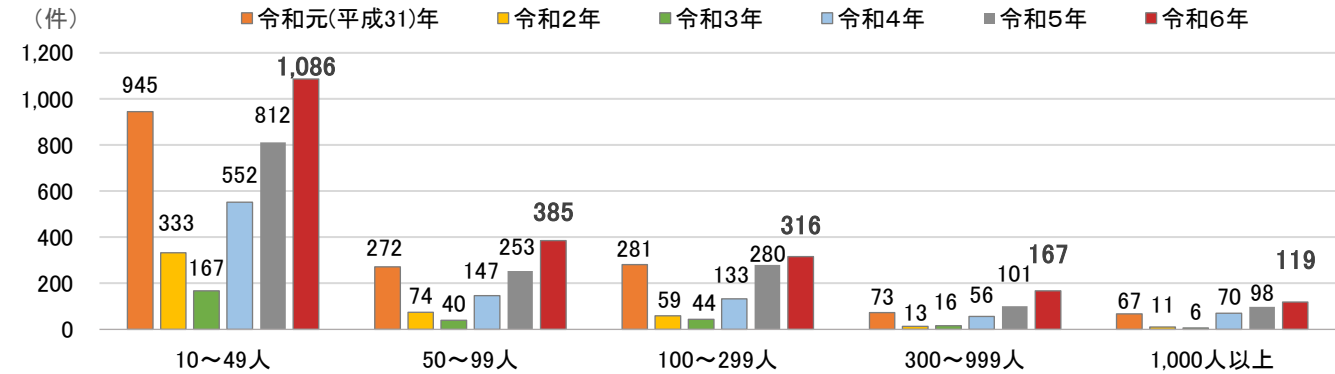
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M (Meeting)	件数	31	23	24	22	20	24	29	5	18	37	29	20
	(%)	11%	8%	9%	8%	7%	9%	10%	2%	6%	13%	10%	7%
I (Incentive Travel)	件数	67	108	107	120	103	201	130	19	71	169	190	44
	(%)	5%	8%	8%	9%	8%	15%	10%	1%	5%	13%	14%	3%
C (Convention)	件数	12	24	27	7	17	25	16	8	14	26	43	14
	(%)	5%	10%	12%	3%	7%	11%	7%	3%	6%	11%	18%	6%
Ex (Exhibition)	件数	4	4	1	6	2	2	1	0	3	4	4	0
	(%)	13%	13%	3%	19%	6%	6%	3%	0%	10%	13%	13%	0%
Ev (Event)	件数	12	14	25	17	11	19	15	17	15	19	16	18
	(%)	6%	7%	13%	9%	6%	10%	8%	9%	8%	10%	8%	9%
合計	件数	126	173	184	172	153	271	191	49	121	255	282	96
	(%)	6%	8%	9%	8%	7%	13%	9%	2%	6%	12%	14%	5%



月別開催件数は、11月（282件）が最多となっています。催事別に見ても11月はMICEの開催が集中しており、特に「Convention」の開催件数が最も多い月でもあります。また、8月が最も少なくなっているのは、台風の影響を避けて日程調整をすることや、航空券や宿泊費が高額となること等の理由が考えられます。全体の開催状況は6月、10月及び11月が多くなっており、令和5年までと同様の傾向となっています。

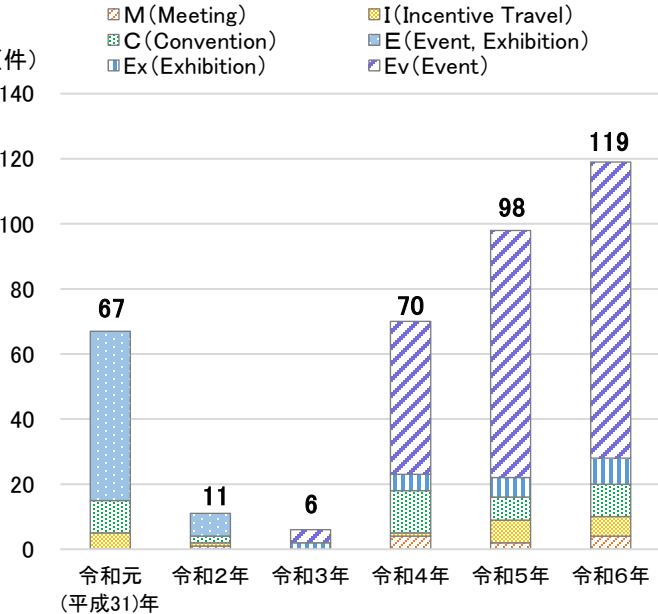
■ 規模別開催件数の推移[令和元年～令和6年]

開催規模	令和元 (平成31)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年		
						件数	増減数	前年比
10～49人	945	333	167	552	812	1,086	274	134%
50～99人	272	74	40	147	253	385	132	152%
100～299人	281	59	44	133	280	316	36	113%
300～999人	73	13	16	56	101	167	66	165%
1,000人以上	67	11	6	70	98	119	21	121%
合 計	1,638	490	273	958	1,544	2,073	529	134%



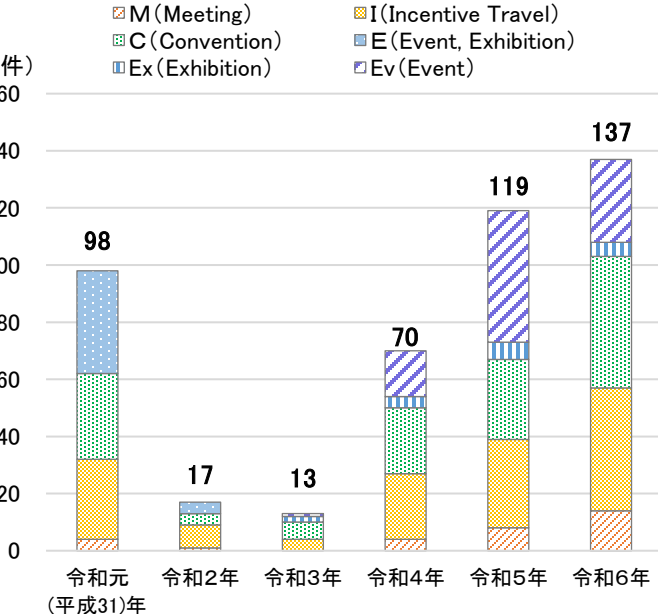
規模別にみると、100人未満の小規模催事（10～49人：1,086件、50～99人：385件）が全体の71%を占めており、100人以上1,000人未満の中規模催事（100～299人：316件、300～999人：167件）が23%、1,000人以上の大規模催事（119件）が6%となっています。令和5年と比較すると、小規模催事は406件増、中規模催事は102件増、大規模催事は21件増で、小規模催事において増加率が大きくなっています。

■ 参加者数1,000人以上の催事開催件数
〔令和元年～令和6年〕



参加者1,000人以上の大規模催事は、令和5年から21件増加して119件（前年比121%）で、調査開始以降の最高件数となっています。「Meeting」は4件（前年比200%）で、近年整備された大型の会議施設で開催されました。特に大きな割合を占めている「Exhibition, Event」については、1万人以上を動員したイベントも16件開催され、過去最高の99件で令和5年から17件（前年比121%）の増加となっています。

■ 海外・県外参加者300人以上の催事開催件数
〔令和元年～令和6年〕



海外及び県外参加者が300人以上の催事は、令和5年から18件増加して137件（前年比115%）で過去最高となっています。令和5年に比べ、催事別では、「Meeting」は14件（前年比175%）、「Incentive Travel」は43件（前年比139%）、「Convention」は46件（前年比164%）と増加した一方、「Exhibition」は5件（前年比83%）、「Event」は29件（前年比63%）と減少しています。

■ 市町村別開催件数[令和6年]

市町村名		開催件数 合計	前年比	M (Meeting)	I (Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
1	那覇市	611	186%	117	294	92	13	95
2	恩納村	294	103%	20	218	56	0	0
3	石垣市	258	155%	23	214	13	0	8
4	名護市	239	121%	18	200	16	2	3
5	宮古島市	144	133%	22	113	5	0	4
6	宜野湾市	113	101%	29	16	25	12	31
7	糸満市	88	66%	5	72	4	0	7
8	本部町	66	550%	2	60	2	0	2
9	沖縄市	53	139%	6	19	1	2	25
10	北谷町	47	214%	3	41	1	0	2
11	豊見城市	41	114%	0	37	0	0	4
12	読谷村	33	97%	11	19	1	0	2
13	南城市	24	83%	5	15	1	0	3
14	浦添市	15	188%	0	2	5	2	6
15	うるま市	13	325%	11	1	0	0	1
16	久米島町	10	71%	5	0	4	0	1
17	宜野座村	5	500%	1	2	0	0	2
18	西原町	5	83%	0	0	5	0	0
19	伊江村	5	—	0	5	0	0	0
20	北中城村	3	—	3	0	0	0	0
21	南風原町	2	—	0	0	2	0	0
22	大宜味村	1	25%	0	0	0	0	1
23	嘉手納町	1	100%	0	0	0	0	1
24	与那国町	1	100%	1	0	0	0	0
25	今帰仁村	1	—	0	1	0	0	0
合計		2,073	134%	282	1,329	233	31	198

■ エリア別開催件数[令和6年]

エリア区分	開催件数 合計	M (Meeting)	I (Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
本島北部	611	41	486	74	2	8
本島中部	209	43	78	32	14	42
本島東海岸	98	25	35	7	2	29
本島南部	752	127	403	102	13	107
宮古・八重山	403	46	327	18	0	12
計	2,073	282	1,329	233	31	198

市町村別開催件数は、那覇市が611件と最多で、次いで恩納村の294件、石垣市の258件となっています。エリア別開催件数は、本島南部が752件と最多で、次いで本島北部が611件となっています。

那覇市は、開催件数が最多であり、前年比も186%と大きく伸びています。那覇市の開催件数の内訳として、規模別では100人未満の小規模催事が前年比約2.5倍（224件増）と増加している他、特に、「Incentive Travel」は前年比で約3倍（197件増）となっています。

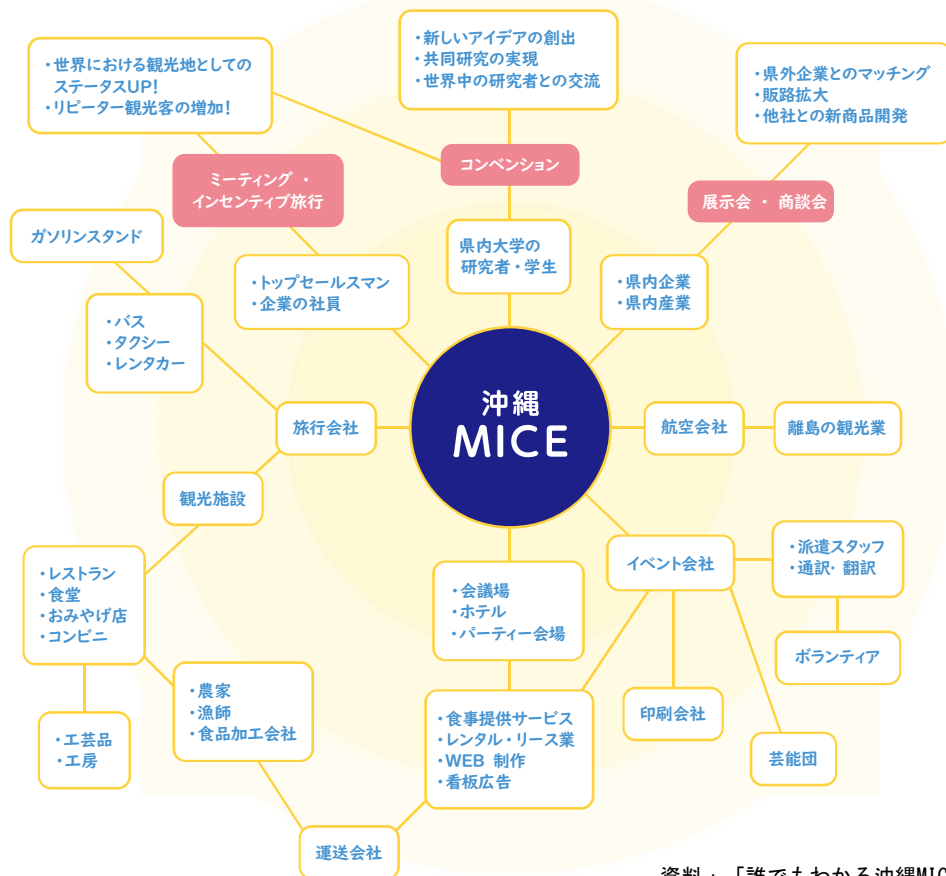
那覇市は空港からのアクセスの良さや宿泊施設の豊富さに加えて、受入側で小規模団体向けのプランが整備される等、需要拡大を後押ししています。

■MICEを開催する意義・効果

沖縄でのMICE開催により、①観光分野を中心とした幅広い業界への経済効果、②産業の競争力強化、③地域・住民へもたらされる効果などが期待されます。

①観光分野を中心とした幅広い業界への経済効果

MICEを通じて新たなビジネス客を獲得することで、観光需要の平準化や観光の質的向上が期待されます。さらに、MICEの多くは数年前に開催地が決定されるため、将来の収益を見込むことができ、地域経済や企業経営の安定化にもつながります。



資料：「誰でもわかる沖縄MICE入門」をもとに作成

②産業の競争力強化

MICE参加者との交流を通じて、ビジネスチャンスの獲得や新たな事業創出等、産業の高度化が期待されます。さらに、国際商談会等のMICEを開催することで、ビジネス交流拠点としての地域のブランドを高め、産業全体の競争力強化につながります。

③地域・住民へもたらされる効果

海外参加者との交流を通じて異文化理解が促進され、地域のグローバル化が進みます。さらに、最先端の技術や知見に触れる機会の創出、市民向けイベントの開催による教育機会の確保等、開催地域や住民にも多様な効果がもたらされます。

沖縄県MICE開催実態調査(令和6年版)報告書及び過年度の報告書は、下記ウェブサイトよりダウンロードいただけます。

[沖縄県 文化観光スポーツ部MICE推進課 ウェブサイト]

<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/mice/index.html>

【お問い合わせ先】

沖縄県 文化観光スポーツ部MICE推進課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 行政棟 8階 (南側)

TEL : 098-866-2077 FAX : 098-866-2264

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー MICE推進課

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター 2階

TEL : 098-859-6130 FAX : 098-859-6221